

セカンドステージへ向けて！ 愛南グリーン・ツーリズムフェスタ



愛南グリーン・ツーリズム推進協議会発足5周年を記念して、地域住民や子ども達により一層地域の良さを再発見してもらおうと、同協議会主催による「愛南グリーン・ツーリズムフェスタ」が初めて開催されました。

グリーン・ツーリズム（GT）とは、緑豊かな農山漁村地域において、その自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型レジャーのこと

で、過疎高齢化が進む農山漁村の活性化と高度に近代化・情報化・国際化された都市住民の安らぎやノスタルジー、癒しの充足を結びつけた新しい観光施策として近年注目されています。

■講演「のんびりいなか体験」

初日には、平城交流館で香川大学の原直行教授を講師に「愛南町で出来るのんびりいなか体験」と題した記念講演会が行われ、日本におけるGTの政策的な流れや特徴、経営の実態、愛南町におけるGT推進の動きなどについてお話いただきました。

また、今後の愛南町におけるGTに必要なこととして、実践仲間を増やし、町民や学校関係者の協力を得て、地元の子ども達にも体験してもらおうことを挙げ、さらに、受け入れ窓口や情報発信を一本化する中間支援（コーディネート）組織の必要性を提言されました。



■実践！いなか体験

2日目には旧満倉小学校で、町内小学生親子を対象に「いなか体験」が行われました。竹馬・竹鉄砲づくりやこけ玉づくり、真珠アクセサリー作り、海からの贈り物アート作り、ピザ焼き・餅つき体験など田舎ならではの体験メニューに約320名の親子が挑戦しました。このほか、いなか料理レストランや特産市、餅まきなども行われ、雨上がりの清々しい晴天のもと、多くの親子連れで賑わっていました。

